

港北区の「活動」をつなぐ情報誌

# 楽らく遊ゆう学がく

特別号

令和2年8月発行

## わがまち港北ウォーキングマップ

【編集・発行】港北区区民活動支援センター



ゆったり歩いて魅力発見！  
ぶらり港北散歩



# 港北を歩こう！

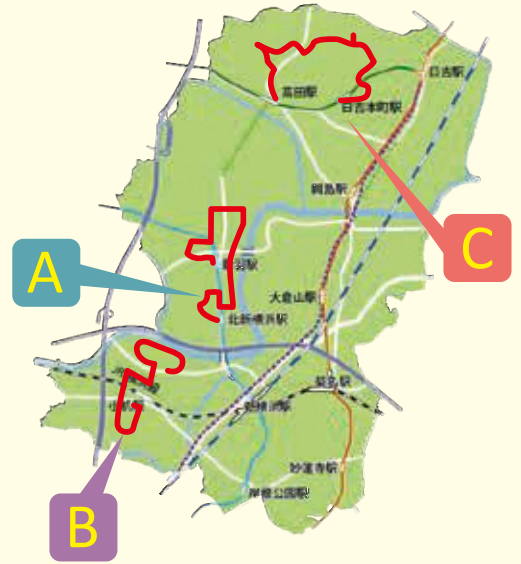
Kohoku Walk

©横浜市港北区ミズキー

港北ボランティアガイドさん厳選の  
**楽しみ、遊び、学べる3コース！**  
魅力あふれるウォーキングルートをご紹介します。

## 「ウォーキング心得」

- 体調管理(熱中症対策等)に注意する。
- 交通ルールや施設の利用マナーを守る。
- 他の通行人や施設来訪者の迷惑にならないように配慮する。
- 靴や服装、持ち物、トイレ休憩等、計画的に準備する。



ウォーキングルート

...寺院	...病院	...梅	...桜	富士山
...神社	...交番	...桜	紅葉	ビューポイント
...史跡	...郵便局	...黄葉	トイレ	
...学校	...消防署			

## Aコース 新羽の寺社と新田緑道をめぐる

約5.1km



Aコース 全長距離 約5.1km

四季折々の花が楽しめる歴史ある寺社と、元は農業用水路が、町工場沿いの散歩道に整備された新田緑道。地下鉄ブルーラインの西側と東側で対照的な雰囲気を楽しめるコースです。

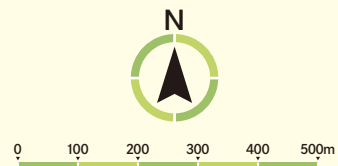
新羽駅	450m ↓ 690歩
1 さいほう 西方寺	270m ↓ 415歩
2 にっぽすぎやま 新羽杉山神社	810m ↓ 1,250歩
3 しょうん 常真寺	530m ↓ 815歩
お祭り広場	1,440m ↓ 2,215歩
スポーツの路	950m ↓ 1,460歩
5 せんねん 専念寺	700m ↓ 1,185歩
北新横浜駅	

↓ 新田緑道

西方寺の花ごよみ  
(3分30秒)

二次元バーコードから、関連動画をご覧いただけます。

協力: わがまち港北映像プロジェクト「港北映像ライブラリー」  
映像提供: 港北ふるさとテレビ局



※歩数は、歩幅65cmで歩いた場合の目安です。



Bコース 全長距離 約5.3km

城郷小机地区センターのお城ジオラマで小机城址を学び、鶴見川流域センターと新横浜公園では、河川の防災設備を学べる、小機の今と昔をめぐるコースです。

小机駅	220m ↓ 340歩
1 城郷小机地区センター	640m ↓ 980歩
2 雲松院	550m ↓ 840歩
3 本法寺	1,300m ↓ 2,000歩
4 小机城址	550m ↓ 840歩
5 鶴見川流域センター	2,000m ↓ 3,080歩
6 新横浜公園中央広場	

Bコース 小機の今昔をめぐる

約5.3km



※各施設の休館日は事前にご確認ください。

Cコース 松の川緑道と古刹をめぐる

約5.2km



松の川緑道 (3分25秒)

高田駅	990m	←	1,520歩	←	6	塩谷寺	470m	←	720歩	←	5	高田天満宮	120m	←	180歩	←	4	興禅寺	1,790m	←	2,760歩	←	3	真福寺	980m	←	1,510歩	←	2	ラグビー場	450m	←	685歩	←	1	金蔵寺	435m	←	670歩	←	日吉本町駅
← 松の川緑道																																									

Cコース全長距離 約5.2km  
横浜七福神のうち2か所をつなぐ自然豊かな松の川緑道を歩きます。由緒ある古刹をめぐるコースです。

## 「わがまち港北」スポット 12年に一度の霊場巡り

令和2年は12年に一度の子歳で、旧小机領三十三所観音霊場のご開帳の年でした。しかし、残念なことに、コロナ禍の影響を受け、巡拝もままならなくなりました。そこで、今回の「わがまち港北」スポットは、平成11年1月～平成30年4月まで『楽遊学』に連載していた「シリーズわがまち港北」より、「子歳観音」についてのコラムを一部抜粋し、ご紹介させていただきます。

『楽遊学』平成20年4月号・6月号より。令和2年6月追記

小机といえば毎年4月の小机城址まつりが楽しみですが、今年(平成20年)はもう一つ、旧小机領三十三所観音霊場のご開帳があります。これは、12年に一度子の歳に開帳されますので、子歳観音ともいわれます。今年(平成20年)は、4月1日から5月6日まで開帳されます。これを逃すと次回は12年後ですから要注意。開帳とは、秘仏など普段は見ることの出来ない仏像を、お寺で日を決めて拝観させてくれることです。開帳をする33か所の寺を札所といい、札所を巡ることを巡礼といいます。

旧小机領三十三所観音霊場の始まりは、江戸時代、第8代将軍吉宗の享保年間(1716～36年)のようです。都筑郡本郷村の法昌寺(第33番札所、元緑区東本郷町で現在は青葉区奈良町へ移転)に残る石碑によると、瀧野愛勝という人の発願により、法昌寺の宗運和尚と朝庵和尚が、小机村の泉谷寺の第17世転誉理察上人を訪ねて霊場を作ろうと相談したのが始まりと伝えられています。この三人が小机領内の寺を巡り、札所となる寺を選び、格の高い転誉上人が代表となり、享保17年(1732年)に幕府へ霊場開設を願い出ます。それから24年後の宝暦6年(1756年)に最初のご開帳が行われたと伝えられています。この年が子歳であり、以後12年毎の子歳に開帳が行われることとなり、現在まで続いているということです。



西方寺

### 15番札所 西方寺(さいほうじ)

御詠歌 くだらなくに またごらくの さいほうじ みだかんのんの じょうどなりけり

「みだ」とは、本尊の阿弥陀如来坐像を指します。新羽の補陀洛山西方寺は、鎌倉の極楽寺の塔頭でしたが、室町時代に鶴見川を船で上り新羽の地へ移築しました。十一面観音は平安時代の作で、西方寺移築の以前より新羽の地で祀られていたもので、安産の守りとして有名です。平成15年度より始めた本堂の解体修理により、建物は享保6年(1721年)の建築であったことが分かりました。5月17日に落慶記念式が行われ、記念誌が刊行されました。



専念寺

### 16番札所 専念寺(せんねんじ)

御詠歌 たづねくる 寺は南の専念寺 大慈大悲の ちかひしるべに

南新羽の専念寺は、小机泉谷寺の第6世本誉耕公和尚が天正12年(1584年)に創建した寺です。当初は少し南の亀甲山にありましたが、後に現在地に移転しました。本堂左手の坂を上ったところにある観音堂は、昭和58年(1983年)に開創400年記念として再建されたものです。正観音は、平安時代の作といわれ、高さ1尺余(30センチ余り)のケヤキの一木造りです。

<※西方寺や専念寺をはじめ、港北区内の札所は全部で7か所あります。>

『楽遊学』(平成11年1月～平成30年4月)に連載されていた、大倉精神文化研究所(平井誠二所長)による「シリーズ わがまち港北」バックナンバーは、大倉精神文化研究所のサイトからご覧いただけます。

URL: [https://www.okuraken.or.jp/depo/chiikijyouhou/kouhoku\\_rekishi\\_bunka/](https://www.okuraken.or.jp/depo/chiikijyouhou/kouhoku_rekishi_bunka/)



発行: 港北区区民活動支援センター(港北区役所4階48番窓口)

〒222-0032 港北区大豆戸町26-1

TEL 540-2246 FAX 540-2246 Eメール [ko-center@city.yokohama.jp](mailto:ko-center@city.yokohama.jp)

制作協力: 港北ボランティアガイド <http://www.kouhokuvlg.yokohama/>  
グループからのご依頼を受けて、各コースのガイドも行います。  
詳細はホームページをご覧ください。



▲ 港北ボランティアガイドのみなさん